

大分県内の 2017(平成 29)年度の温室効果ガス排出量<概要版>

1 温室効果ガス排出量

- 2017(平成 29)年度の県内における温室効果ガス排出量は、4, 2 2 7 万 1 千 t (二酸化炭素換算)
- 1990(平成 2)年度比 1 3. 4 %増、2013(平成 25)年度比 9. 9 %減、前年度比 2. 4 %減となっている。

県内の温室効果ガス排出量

	排出量(千t-CO2換算)					2020 削減 目標 (対13) ※2	2017年度増減率(%)			全国・2017年度 増減率(%)	
	1990 (H2) ※1	2013 (H25)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)		対1990 年度	対2013 年度	対前 年度	対1990 年度	対前 年度
温室効果ガス排出量	37,273	46,921	44,819	43,306	42,271	—	13.4	▲9.9	▲2.4	1.3	▲1.2
二酸化炭素(CO₂)	36,390	46,339	44,318	42,807	41,784	—	14.8	▲9.8	▲2.4	2.2	▲1.5
産業部門(製造業、鉱業等)	28,203	36,482	35,129	33,835	33,096	—	17.3	▲9.3	▲2.2	▲16.7	▲1.3
家庭部門	1,300	2,328	1,937	1,786	1,756	▲16%	35.1	▲24.6	▲1.7	44.6	6.4
業務部門(事務所・ビル、卸小売、病院等)	1,452	2,362	2,098	1,924	1,753	▲16%	20.8	▲25.8	▲8.9	65.9	▲2.7
運輸部門(自動車、鉄道等)	2,097	2,785	2,791	2,792	2,790	▲11%	33.1	0.2	▲0.05	3.9	▲0.8
廃棄物部門(廃棄物の焼却等)	168	231	253	254	253	—	50.4	9.8	▲0.2	22.9	▲1.0
工業プロセス部門(セメント製造等)	3,170	2,151	2,110	2,216	2,135	—	▲32.6	▲0.7	▲3.6	▲29.8	1.2
メタン(CH₄)	344	276	309	300	294	—	▲14.7	6.5	▲2.2	▲32.1	▲1.4
一酸化二窒素(N₂O)	290	138	124	123	121	—	▲58.3	▲12.7	▲1.7	▲35.5	1.0
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	21	15	13	13	13	—	▲38.0	▲15.6	0.3	182.4	5.4
パーフルオロカーボン(PFC)	193	96	40	50	50	—	▲74.1	▲47.7	0.0	▲46.2	4.1
六フッ化硫黄(SF₆)	34	20	5	3	3	—	▲89.9	▲82.7	0.0	▲83.7	▲4.6
三フッ化窒素(NF₃)	1	38	10	9	7	—	580.0	▲82.1	▲24.4	1400.0	▲29.1
森林吸収量(前年からの増加分)	2,418	2,451	1,974	2,081	1,558	—	▲35.6	▲36.4	▲25.1		
電力のCO2排出原単位(kg-CO2/kWh)	0.436	0.613	0.509	0.462	0.438						

「大分県温室効果ガス排出量算定システム」を用いた推計による

※1 HFC、PFC 及び SF6 については、1995年。

※2 削減目標は、温室効果ガス排出量の大部分を占める二酸化炭素について設定し、全国規模で削減を目指す産業、工業プロセス部門は除いて、家庭、業務、運輸の各部門を対象としている。

2 二酸化炭素排出量

- 2017(平成 29)年度の県内における二酸化炭素排出量は、4, 1 7 8 万 4 千 t-CO₂。
- 1990(平成 2)年度比 1 4. 8 %増、2013(平成 25)年度比 9. 8 %減、前年度比 2. 4 %減となっている。

<前年度からの増減の主な要因>

○産業部門：－ 2. 2 % (7 3 万 9 千 t-CO₂ 減)

- ・産業部門の排出量の 9 8. 9 %を占める製造業における排出量が減少

○家庭部門：－ 1. 7 % (3 万 t-CO₂ 減)

- ・再生可能エネルギーの普及等により、電力の排出原単位の改善したため

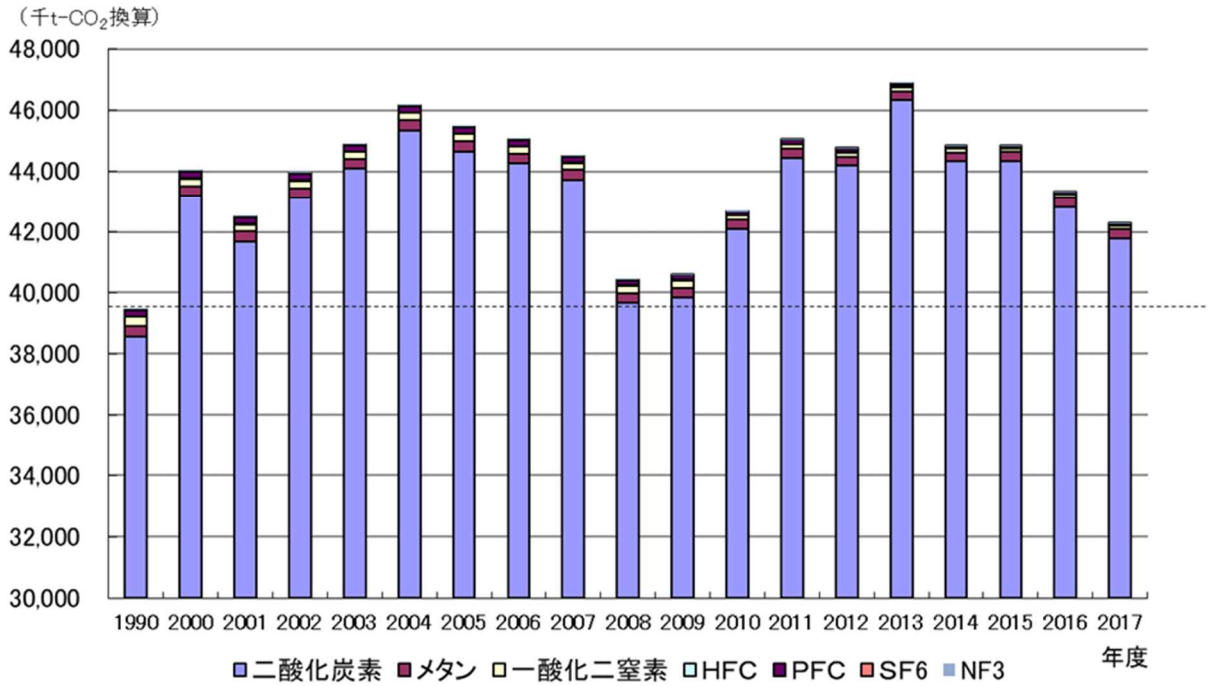
○業務部門：－ 8. 9 % (1 7 万 1 千 t-CO₂ 減)

- ・再生可能エネルギーの普及等により、電力の排出原単位の改善したため

○運輸部門：－ 0. 0 5 % (2 千 t-CO₂ 減)

- ・自動車からの排出量が増加した一方で、鉄道、船舶等からの排出量が減少したため

県内の温室効果ガス排出量の推移



県内の二酸化炭素排出量

(単位: 千t-CO₂)

	1990	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
合計	36,390	41,681	43,125	44,071	45,339	44,652	44,251	43,723	39,687	39,853	42,088	44,448	44,189	46,339	44,339	44,318	42,807	41,784
産業部門	28,203	32,294	34,340	35,411	36,690	35,620	35,167	34,717	30,969	31,246	33,579	35,059	34,563	36,482	34,863	35,129	33,835	33,096
家庭部門	1,300	1,514	1,353	1,379	1,383	1,481	1,453	1,557	1,438	1,378	1,690	2,262	2,284	2,328	2,120	1,937	1,786	1,756
業務部門	1,452	1,556	1,473	1,394	1,462	1,532	1,527	1,594	1,605	1,652	1,688	2,102	2,297	2,362	2,210	2,098	1,924	1,753
運輸部門	2,097	2,527	2,670	2,667	2,676	2,830	2,881	2,856	2,818	2,773	2,738	2,716	2,755	2,785	2,793	2,791	2,792	2,790
廃棄物部門	168	238	234	237	225	258	242	242	239	247	209	221	236	231	228	253	254	253
工業プロセス部門	3,170	3,552	3,056	2,983	2,902	2,931	2,981	2,756	2,618	2,559	2,183	2,088	2,054	2,151	2,125	2,110	2,216	2,135

＜第4期大分県地球温暖化対策実行計画で目標設定した3部門の推移＞

(2013年=100とした指数表示)

	2013	2014	2015	2016	2017	2020 目標年度
家庭	100.0	91.1	83.2	76.7	75.4	84
業務	100.0	93.6	88.8	81.5	74.2	84
運輸	100.0	100.3	100.2	100.2	100.2	89

目標との 乖離
▲8.6
▲9.8
11.2

目標設定した3部門の推移

